

# くらしの足フォーラム



WILLER

WILLER株式会社



# 『共有交通』 アプリ

みんなで作る、『ちょい乗り』サービス



毎日の買い物や塾の送り迎え、通勤・通学・通院など、  
これまでの**自転車やマイカー**に代わる新たな『ちょい乗り』サービス。

**半径2kmの生活圏**をみんなが**毎月定額を出し合う**ことで、  
呼べばすぐ来て、行きたいところまで送ってくれる便利な移動アプリ。

**コミュニティのみんな**で  
運転手付きの車を複数台**共有する感覚**の移動サービスです。



# 事例紹介 京都府京丹後市：2021年6月30日～サービス開始



サービス提供時間 **朝8:00～夜9:00**  
電話でのご予約は夜7:00まで

- 相乗り交通で効率よく行ける
- 乗降場所は徒歩約200m以内

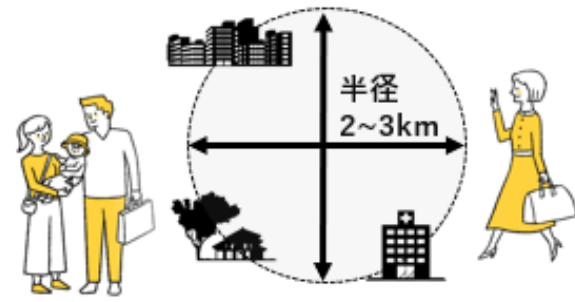




# mobiのサービスポイント

## ポイント#1

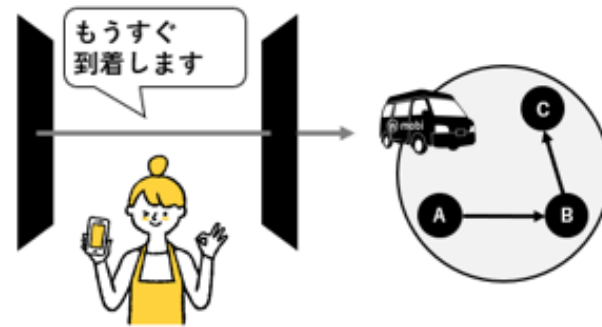
徒歩や自転車に代わる  
近距離移動



自宅から約2km圏の  
近距離回遊型移動サービス

## ポイント#2

アプリでも、電話でも  
呼べはすぐ来る



エリア内であれば  
どこでも乗降りが可能

## ポイント#3

定額乗り放題  
面倒な都度払いが不要

家族の一人目の加入者は月5,000円、  
二人目からは月500円でmobiを利用できます。

一人目      二人目      三人目  
お父さん   お母さん   お子様

 +  +  =

¥5,000      ¥500      ¥500

ご家族3人で  
¥6,000/月  
ひとりあたり  
¥2,000/月

交通費の心配をすることなく  
気軽に外出ができる

## コロナ後の変化

- 人がリアルに対面する価値の重要性（人を中心）の再認識  
一方では、場面により便利なりモートを活用
- 交通の担い手不足（交通だけでなくサービス業全般）
- 円安によりインバウンドが急増加しそう
- 引き続き高齢化、人口減（特に地方部が深刻）
- カーボンニュートラルの取り組みが重要になる（災害対応も含む）
- 交通サービスのグローバル共通化

## デマンド交通の導入で目指してること（やりたいこと）

- ・ 地方でも都会より便利で快適な自分らしい生活ができる
- ・ 新たな移動目的ができ、移動回数が増え生活スタイルが変わる
- ・ 持続可能なモデルを創る（SDGS / デマンドと路線バスの組合せ）
  
- ・ 世帯あたりのマイカー所有台数を減らす（2台目以降）
- ・ 地域コミュニティが自分たちのサービスを創るしくみ化（住民参加型）

# デマンド交通(mobi)のこれまでの状況

## ポジティブ

- ・ 既存公共交通が不便な移動ルートを利用（補完的）
- ・ 高齢者だけでなく、子育て世代の利用が多い
- ・ 地域差はあるが10%ぐらいの世帯が利用（15%ぐらいまでは増やせそう）
- ・ 移動総量の増加(60%)、生活の変化(80%) ※京丹後市利用者アンケート
- ・ 顧客ニーズに合わせて乗降ポイントを変更するしくみ化（利用者のリクエスト）
- ・ サブスクリプション型事業モデルの可能性が見える（まだ不完全/ネガ項目にも入る）

## ネガティブ

- ・ 待ち時間、到着時間、予約不成立の課題存在（AIチューニング / 期待値との折り合い）
- ・ 需要（ピーク/オフピーク）に応じた車両の柔軟な調達方法（地方部では車両確保）
- ・ 既存公共交通とのあり方整理（地域性も含めさまざまな影響/効果の検証）
- ・ 質量ともにデータ不十分（デマンド交通導入後の効果予測を可能にする）

## わかったこと、感じたこと

①地域ごとに課題や要望が違い、全国同じサービスでは満足度は上がらない

②子育て世代のお母さんは、家族の移動に時間をかなり使っている

→時間にゆとりができると生活スタイルが変わるのでは

③現在の移動は何とかなっており、受け入れているところからどう変化させるか

→自分の移動は便利にしたい要望は多いが、10年先の地域交通の将来まではあまり考えていない

→グループワークを実施すると、当事者となっていていろいろな課題解決や地域便益の意見がでる

→新たなモビリティサービスの導入は、どのシーンで使えるか、体験乗車をしてもらうと効果的

④高齢者は新しいサービスに移行するのに時間がかかる（子育て世代は早い）

→免許返納しても生活ができる環境を創っておくことが重要

→高齢者のアプリ利用の障壁は、アプリダウンロードと初期設定

⑤地方部では運転手不足もあり、車両台数と柔軟な調達をどうすかがポイント

→地方では限られた時間しか使っていない車両もある